

# 妻沼の河川

## 利根川

日本最大の流域面積と2番目の長さを誇る河川です。サケが遡上する南限の川であることなど、特徴的な生態系を見ることのできる河川でもあります。また、元々は、江戸川を通じて東京湾に流入する河川で、度重なる氾濫が周辺の集落や江戸を襲ったため、江戸時代から明治にかけて「利根川東遷」と呼ばれる大掛かりな治水事業が行われました。これによって、利根川は現在の千葉県銚子市で太平洋に流入する流路となりました。(II)



## 備前渠用水

備前渠用水は、1604年に北武蔵地域の農業用水の確保のため、幕府の命を受けた伊奈忠次によって創設されました。熊谷市には、埼玉県の中でも古い歴史をもつ用水路がたくさんあり、備前渠用水はその中の一つとして、現在も利根川の右岸1400haの農地の農業用水として利用されています。今でも素掘りの部分が残っているなどで、2006年には、疎水百選に選ばれています。(MC)



## 福川

福川は荒川扇状地の扇端部からの湧水を集めた河川で深谷市、熊谷市、行田市を流れて利根川に流れ込みます。利根川増水時には合流地点から福川への逆流が起こりこれを防ぐ水門が設置されています。利根川の水位上昇時には福川からの排水が難しくなり氾濫を繰り返してきました。(HS)



## 公共交通機関による妻沼への行き方

JR・秩父鉄道熊谷駅北口（6番乗り場）から朝日バス・妻沼聖天山、妻沼、西小泉駅、太田駅行きで、道の駅めぬま、妻沼下町、妻沼聖天山等で下車。

JR・秩父鉄道熊谷駅北口（3番乗り場）から国際十王バス・葛和田行きで、葛和田で下車。

東武太田駅から朝日バス・熊谷駅行きで、妻沼聖天山、妻沼下町等で下車。

## 製作

立正大学地球環境科学部地理学科妻沼の自然環境勉強会  
飯山和也、長谷川樹生、望月奏岐、鈴木重雄

本リーフレットの印刷には立正大学研究推進・地域連携センター研究支援費第5種「道の駅を拠点とした潜在的な地域資源発掘による地域づくり支援」を利用した。

